



At the heart of the image

第163回
TopEye
賞

「春まだ遠し」河村 夏菜子 (新潟県立六日町高等学校2年)



ガンバレ写真部!
栃木県立栃木工業高等学校
自作カメラで「わが故郷」の今を記録中!

フォトフォトOB/OG訪問
徳島県立鳴門高等学校OG 湯本千晴さん
忙しい!でも楽しい大学生活!!

視想講座 VOL.261
思い立ったら行ってみよう、やってみよう
笹岡 啓子

情報ひろば
FRIEND'S EYE

デジタル写真スクールVer2.0 第7回
「ホワイトバランス」を使って
思い通りの色表現!

Nikon News
第60回ニッコールフォトコンテスト
第4部「U-31」部門 締切迫る!



審査員 大西みつぐ
1952年東京・深川生まれ。「遠い夏」で第18回木村伊兵衛写真賞受賞。ニッコールクラブ顧問、日本写真家協会会員、東京総合写真専門学校講師、武蔵野美術大学非常勤講師。

TopEye賞



表紙に大きく載ってるよ!!

「春まだ遠し」河村夏菜子

新潟県立六日町高等学校2年
●D70S ●AF-S DX70-300mm ●Pオート
●ISO400

いいタイトルです。作者が暮らす風土の率直な思いであると同時に、昨年の震災以来、まだまだ困難な生活を余儀なくされている方々の思いもはっきりここからイメージさせるものがあります。静かな情景だからこそ、万感の思いをそこに感じさせ、写真そのものが持つ力を発揮させてくれました。雪の大きさの違いが美しく、木造家屋の持つ温かみもはっきり描写されています。家族の表情は雪の白さを反映させ、切ないまでに美しい。それぞれが微妙に違う方向を見ているところが画面の中いっばいに「想い」が駆け巡ります。望遠ズームレンズでの切り取り方が的確であったこと、露出が明るすぎず、暗すぎず、適正であったことなど、カメラをしっかり構え、落ち着いて対処したからでしょう。

準TopEye賞

「わっ!!」山城 未早希

沖縄県立浦添工業高等学校2年
●デジタル一眼レフカメラ ●55-250mm
●M (1/320秒・f/6.4) ●ISO400

まさに「決定的瞬間」。わっ!!という言葉が先か、作者のシャッター音が先か、瞬間の反応がここでぶつかっています。この場合、カエルが逃げ出した瞬間でシャッターを押してはダメだったでしょう。逃げ出しそうだと察知し、そこでシャッターボタンに指が触れていなければこのようには撮れません。いわば、コマ何秒という直前のシャッターの世界です。もちろん、連写機能を使えば、ある程度の瞬間は写してくれるのですが、やはり撮り手の集中力、呼吸といった能力に関わります。その点、作者の運動能力はかなりありそうです。そうした得意技を活かし、どんどんシャッターを押してみましょう!



第163回 TopEye賞受賞
河村夏菜子さん
受賞のコトバをどうぞ!!

最初にTopEye賞を頂いたと聞いた時は、驚きでいっぱいでした。しかし、今はこの賞の重さを実感し、嬉しさでいっぱいです。この写真はすごい吹雪の寒い日に撮った写真です。写真に写っている家族の方々はとても親切で、寒さのぎに家にまで入れてくださいました。この場をお借りして、お礼したいと思います。人と人との関わりが大切だと改めて思いました。これからも感謝の気持ちを忘れずに、仲間達と更によりいい写真が撮れるよう頑張ります。ありがとうございました。



撮った時のまなざしを、そのままタイトルに／大西みつぐ

今回は過去最多の応募者数と応募点数でした。長時間立ちっぱなしの審査で足腰が痛くなりましたが、それもうれしい痛さと変わりました。なによりも初参加の学校も多く、着実にこのフォトサロンが育っているなど実感した次第です。新一年生などまだ慣れないみなさんは、どんな写真がいいのかよく分からないでしょうが、とりあえず、好きだな、いいな、きれいだな、なんだこれはというものがあつたら、迷わずシャッターを押してみましょう。たくさん撮ることが上達への第一歩です。

さて、苦言もちょっぴり言わせていただきます。どうも、タイトルの付け方に少々難ありという感があります。投げやりなものはありませんが、テキトーにつけたかなというものがたまにあります。また考え過ぎてしまって、内容とそぐわないものもあります。文学的センスや詩的宇宙といったものも悪くはないのですが、言葉だけが先走ってしまって、「写真」そのものが付いていけないのは困ります。みなさんのストレートな思いや率直なまなざしを、そのまま自然な言葉で提示してくればよいのです。

入賞作品はニコイメージングのサイトに掲載! チェックしてみよう! <http://www.nikon-image.com/activity/topeye/> 最新の応募用紙もダウンロードできるよ!

入選

「かくれんぼ」阿部 凜

宮城県石巻市立女子高等学校2年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●S オート (1/1000 秒) ●ISO200

きれいな青色です。まるでブルー調色か、サイアノプリントのよう。とてもいいセンスをしていると思います。ローアングルでとらえた草花はそれほど密接しているわけでもないのに、なにかソワソワしているように見えます。それは、作者がいうように、「画面右下に妖精が隠れている」からかもしれません。残念ながら選者にはその妖精が見えないのは、心と身体が少し疲れているからでしょうか。こうした写真を見ていると未知の可能性を感じます。写真は豊かなイメージを育むものであることを教えてくれるのです。



「堕ちる。」弘 朋花

山口県立下松高等学校2年
●デジタル一眼レフカメラ ●10-22mm ●Pオート ●ISO100

タイトルが、もし「舞う」であったなら、そして、写真の天地が撮った時のままであったなら、文句なくトップアイ賞としたところですが、みなさんには舞い上がって欲しいからです。確かに液晶画面で再生した時に直感的なイメージがよぎったのですが、これはあまりにも美しい写真ではないですか。フォルム、陰影の美。まるで水の中に泳ぐ人魚のようでもあり、空を舞う天女のようにも見えます。わざわざ写真を逆さまにして表現すること自体は悪くありませんが、まったく「意味」が変わってしまう場合があるということも知っておきたいと思えます。



「墓参りの日」富岡 純一

福岡県立宇美商業高等学校2年
●D5100 ●28-75mm ●Aオート (f/8)
●ISO200

作者は、花を抱え墓参りに行く母の後ろ姿に何を感じ、シャッターを押したのでしょうか。花がきれいだったからだけではないと思います。ちょっと先に弟さんらしき少年も見えています。作者のまなざしはお母さんにしっかり注がれています。それは、これから花を手向けるところにいる亡くなっている方、あるいは方々とのつながりに由来する「想い」ではないでしょうか。言葉に出してはいえないような想いを、シャッターに託すということがあってよいでしょう。しみじみと心に響くスナップショットです。



<p>TOP EYE賞</p> <p>ニコンデジタル一眼レフカメラ D3200レンズキット 賞状 受賞者に</p> 	<p>準TOP EYE賞</p> <p>ニコンデジタルコンパクトカメラ 賞状</p> 
<p>エンハンサー賞</p> <p>エプソンプリンター EP-804A (もしくはR, AW) 入賞作品のうち1点の作者所属の写真部へ贈呈</p>  <p>※白・赤・黒のいずれか1台となります。カラーはお選びいただけません。 ※後日、プリンターのご使用につきましてアンケートにご協力いただくことがございます。</p>	<p>入選</p> <p>ニコンオリジナルカメラバッグ、賞状</p> <p>佳作</p> <p>ニコンオリジナルポーチ、賞状</p>

毎回応募で 狙え! 年度賞

6-9月号 10-11月号 12-1月号 2-3月号

毎回の「入賞ポイント」を学校単位で合計して選出!

受賞ポイント

TopEye賞.....100ポイント
準TopEye賞.....70ポイント
入選.....50ポイント
佳作.....30ポイント
もうヒトイキDE入賞...10ポイント
皆勤校ポイント.....20ポイント

最優秀賞 合計ポイント1位の学校
優秀賞 合計ポイント2位の学校
敢闘賞 合計ポイント3位の学校

受賞校に ニコンデジタルカメラ、エプソンプリンター、賞状、箱をプレゼント!

大舞台も待っている! 毎回のTopEye賞作品は次年度の「ニコールフォトコンテストU-31 (Under31) 部門」にノミネート! キミの作品が、さらに大きく羽ばたくチャンスだ!

佳作



「ありがとう」藤原 優生

広島県立庄原格致高等学校3年
●D80 ●AF-S DX18-135mm ●Aオート (f/13)
●ISO400

以前に撮らせていただいたおばあちゃんに写真をプレゼントしたところ、いいですね。こんな直接的なコミュニケーションができるところが写真のよいところ。ずいぶん大きな写真ですから、なにかの展覧会に出品したものでしょう。それだけでも心がこもったものだとわかります。おばあちゃんも、しっかり写った自分のポートレートに満足顔。今度の写真をまたプレゼントしてもよいのですが、またかあと照れてしまいそう。心とむ世界です。



「12才、春」上村 真結子

熊本県・八代白百合学園高等学校3年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-135mm ●Aオート (f/5、f/5.6、f/5)
●ISO400 (3点とも)

とても素朴に撮れた写真を、変化をつけてしっかり3枚でまとめてくれました。なかなかよく出ています。モデルさんの女の子も照れずに、自然にカメラの前立ってるところもいいと思います。ただ、作者とこの女の子の関係がちょっとよく分からないのです。別に妹さんである必要はないのですが、作者にとっては5年前の「自分」であるでしょうし、そのあたりの「見つめかた」が、表現にも案外微妙に影響してくるはず。どうだったのでしょうか。

「出発進行!」前嶋 真心

静岡県立伊東高等学校3年
●デジタルコンパクトカメラ ●M (1/800秒・f/3) ●ISO100

迫力ある鉄道写真かと思いきや、鉄道模型に「ライティング」して撮ったもの。特別なライトではなく「日ざし」。そこがいい。しかも逆光。ゴーストやフレアを大胆に画面に入れることで臨場感を出したかったのでしょうか。うまくいっています。しかし、コンパクトデジカメのフィルター効果か、ソラリゼーションかは知りませんが、ここまで画像の色調などを変容させる必要はあったのか? 電車の色がうっすぽい。リアルに行きましょう、リアルに!



「桜小川」伊丹 駿平

新潟県・中越高等学校1年
●COOLPIX L810 ●Aオート (f/3.1)
●ISO80

小さな用水路に、桜の花弁が数えきれないほど落ちて流れているだけなのですが、それまでの風景をすっかり変えてしまっているのは凄いことだ、と気づいたのに違いありません。水面の細かな質感は花弁のそれに置き換わっていますし、周囲の葉っぱの緑色との対比も色合いはまったく違います。それらオーソドックスな構図ながらも忠実に全体を描いています。ダイナミックで男らしい構図ともいえるでしょう。

「憂鬱」平良 匠

沖縄県立那覇工業高等学校1年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-135mm ●M (1/60秒・f/5.6)
●ISO400

説明を読みますと、天気が悪くなくて、いまひとつテンションも上がらぬまま、時間だけが過ぎていくということなのでしょう。気持ちはよくわかります。しかしそれでも押すシャッターは美しく、束の間の情景を描写しました。麦わら帽子、列車の窓を濡らす雨の質感などがとてもきれいです。ひと夏の思い出は、永遠でもあります。ためらいがちなシャッターも、今にして思えば、かけがえのない記憶。



もうヒトイキ DE 入賞コーナー

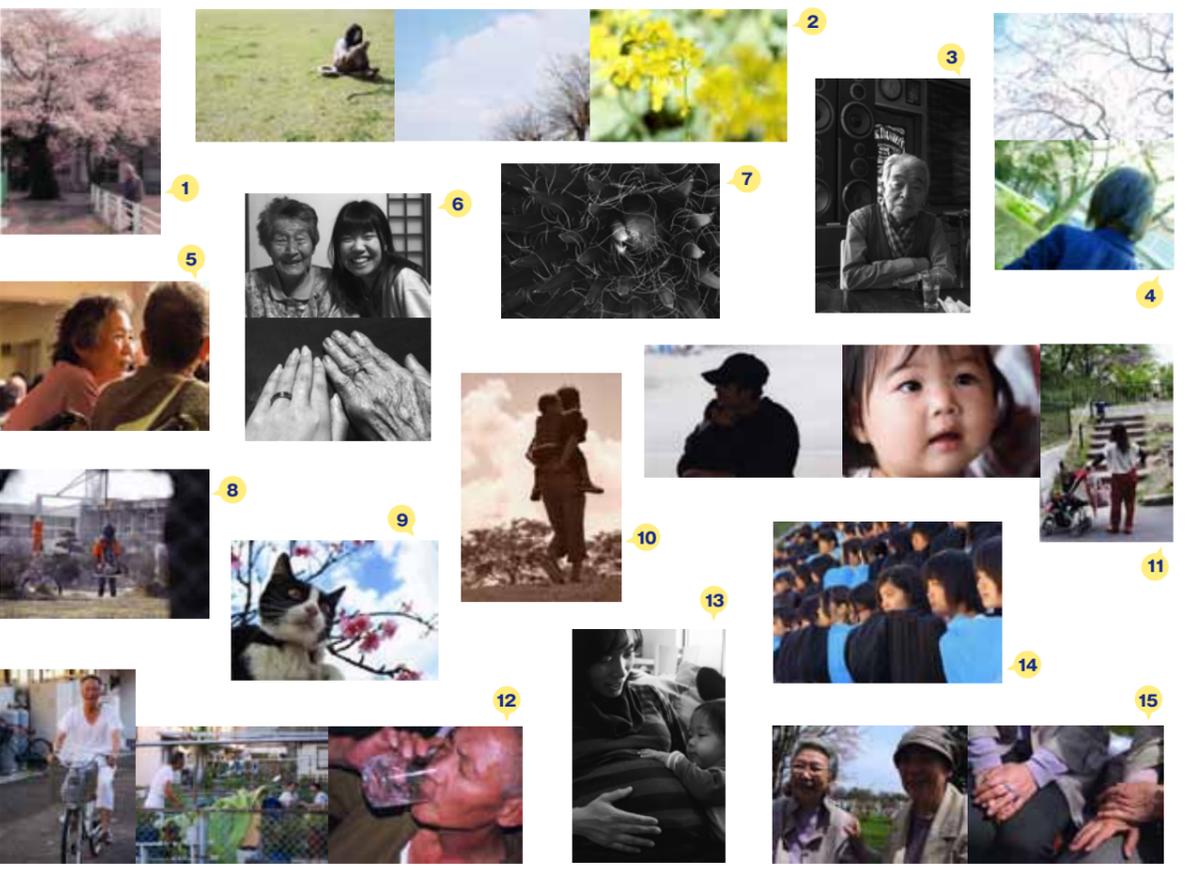
「夕方とトンネル」豊嶋 七帆
香川県立高松工業高等学校1年

夕方とトンネルの相性がよいのは、太陽光が斜めから差し、それがドラマチックなイメージを私たちに要求するからです。だからこそ、自分の主眼をどこに置くかが大事。それはピント位置として反映できそうです。せっかくのいい情景、どこにもピントが合っていないのは、至極残念です。



「スカイカプチーノ」大塚 瑞代
千葉県立四街道高等学校2年

タイトルはともいいます。斬新! 写真もとても思いっきりがよく、爽快感もたっぷりでいいなと思いました。しかし、やはりちょっと切り取り方が荒っぽく感じます。一瞬の見え方に反応したところはよいのですが、フォーカスをどこに合わせたのか、わかりづらい。この場合、白い泡のちょっと手前がよいのですが...



- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 1 「見守る人」 番正しおり 香川県立坂出商業高等学校3年 | 9 「花見猫」 野原智恵 沖縄県立浦添工業高等学校2年 |
| 2 「美しがりや」 齋藤真海 大阪府立成城高等学校1年 | 10 「夕風と共に…」 宅間優季 宮崎県立宮崎農業高等学校2年 |
| 3 「クラシカルなひととき」 和泉澤まどか 東京都・正則高等学校3年 | 11 「ぬくもり」 阿部夢加 大阪府立成城高等学校1年 |
| 4 「春の中を通る」 高橋 香 宮城県石巻市立女子高等学校2年 | 12 「お父さんの休日」 長佐美幸 香川県立多度津高等学校2年 |
| 5 「眼差し」 宮武由佳 富山県立富山東高等学校2年 | 13 「まってるよ」 松村綾香 大阪府立生野高等学校2年 |
| 6 「ばあちゃん和我」 海保美苗 千葉県立四街道高等学校2年 | 14 「まなごし」 西島 通 熊本県立玉名高等学校3年 |
| 7 「触手」 加藤美明 静岡県立伊東高等学校3年 | 15 「ぬくもり」 小森遥香 千葉県立柏南高等学校2年 |
| 8 「風々吹くな」 藤原広太 茨城県・清真学園高等学校3年 | |

Photo Photo SALON

年度賞ポイント 中間発表

- | | |
|---|---------|
| ★1位 新潟県立六日町高等学校 | 100ポイント |
| 2位 沖縄県立浦添工業高等学校 | 80ポイント |
| 3位 宮城県石巻市立女子高等学校 | 60ポイント |
| 4位 福岡県立宇美商業高等学校/山口県立下松高等学校 | 50ポイント |
| 6位 静岡県立伊藤高等学校 | 40ポイント |
| 7位 新潟県・中越高等学校/広島県立庄原格致高等学校/熊本県・八代白百合学園高等学校/沖縄県立那覇工業高等学校 | 30ポイント |

11位以下は 11位 (20ポイント) 千葉県立四街道高等学校/大阪府立成城高等学校
13位 (10ポイント) 富山県立富山東高等学校/茨城県・清真学園高等学校/千葉県立柏南高等学校/東京都・正則高等学校/大阪府立生野高等学校/香川県立高松工業高等学校/香川県立坂出商業高等学校/香川県立多度津高等学校/熊本県立玉名高等学校/宮崎県立宮崎農業高等学校

今年度も、よろしくね!
どんな作品に出逢えるか楽しみです!

次回 フォトフォトサロンの 応募締切は 2012年9月10日(月)
(当日消印有効)

ガンバリ写真部!!

今回は、トップアイが長くお付き合いさせていただいている写真部です。部員数から言えば小振りだけど、活動はスゴイ!先輩から後輩へと受け継がれる「部のライフワーク」として、ふるさとの姿を記録し続けている写真部の。しかも、記録に使っているのは部員さんの手作りカメラ!街ぐるみの応援も受けて元気に活動する様子をのぞいてきました!

自作カメラで、「わが故郷」の今を記録中! 栃木県立栃木工業高等学校



少数精鋭の写真部を見守る小松先生は、小学校時代から写真が趣味!
本年度入部、今や欠かぬメンバーの高橋くん!
広告写真への興味から写真始めた、部長の渡邊くん!
学校でただ一人の女子、中島さん。福祉製作部で車椅子の修理も!
昨年、部長。パソコンから写真に関心を持った石上くん!

部員: 4名(全員2年)
活動: 平日放課後は毎日活動。校内の部活や学校周辺の撮影が主。栃木市の街なかに撮影に行くことも。休日は栃木市街で「わが故郷とちぎ」の撮影を進める(右ページ参照)。その他、高総文祭ほかの写真大会や、講習会などに積極的に参加。
機材: 部員で自作した8×10カメラは、世界でただ一台の財産!他に部の備品はデジタル一眼レフカメラ1台、A2サイズまで出力できるプリンタ1台。部員個人所有のデジタル一眼レフカメラ2台。
部費: 生徒会費が5万円。PTAの部活動後援会費から20万円。県教育委員会から「特色ある学校づくり」の補助金(顧問が申請、審査あり!)が10万円。部員からの部費徴収は0円。部費は材料費や備品の購入費に充てる。
部費節約のポイント: フィルムや現像液は節約できないので、節電・節水を徹底!最近、太陽電池で充電したバッテリーを引き伸ばし機の電源に使ったり(エコだね!).

せまいながらも
楽しい暗室!



絶賛活躍中の暗室。天井が低くて洞窟のよう(汗)天井には歴代先輩の落書きも。

興味がこうじて、カメラを自作!

創部は1965年という歴史ある写真部ですが、ここ数年は部員数の少なさが悩み。でも、そんなことはモノともしないエネルギーを持った部なのです。数年前、部員の一人が「8×10カメラ*(エイトバイテンカメラ、と読む)って何?」と興味を抱いた。抱いただけなら普通だけど、調べた知識を基に、なんと自分で造ってしまったのです!木箱に大判カメラ用のレンズを取り付けた簡単なものだけど、試しに撮影してみたら、画質の鮮明さにビックリ!すっかり大判カメラの魅力にハマってしまっただけじゃありません。その後、先輩が改良版の二代目カメラをこれまた自作。世界に二つとない部の財産、そして活動の柱として、日々活躍しているのです。

*8×10インチ(つまり約20×25センチ)のシートフィルムを使う、大判カメラの一種。かつて多くのプロカメラマンが愛用。



ニコンのデジタルカメラも、使いこなしています!

栃工写真部自作
8×10カメラで撮影中!

高総文祭写真展で入賞!
(石上君)



CAPAフォトコンで1席!
(中島さん)



8×10カメラをしっかり
抱えてロケハン中!

写真部×街 のコラボレーション!

さて、自作したカメラで何をやるの?というところで考えたのが、「ぼくらの街を記録したい!」ここ栃木市は「小江戸」「蔵の街」とも呼ばれ、古い時代の土蔵や商家、寺院等が多く残る地域があり、今もそこで暮らし、働く人々がいる。そんな街の姿や暮らしを、僕らのこのカメラで記録していこう!と始めたのが、シリーズ写真「わが故郷とちぎ」なのです。5年前に撮り始め、先輩から後輩へと受け継ぐ活動に街の人々も注目し、メディアの取材を受けることも度々あるそうです。もちろん、デジタルカメラによる作品づくりもがんばって、大会やコンテストの参加も多数。少人数ながら、ホントに濃密な活動となっております。

取材の日に撮影した
「わが故郷」の一枚。



渡邊くん撮影



中島さん撮影



高橋くん撮影



商店街の皆さんとも顔見知り。
このお店のご夫婦にも、お世話になってます!



一台のカメラから生まれたつながり!

「わが故郷とちぎ」撮影に同行取材して気づいたことの一つは、メンバーのやり取りの熱さ。「このアングルの場合、主役って何?」「ここだと、あの建物が隠れるから…」一台のカメラを囲んで考えを持ち寄り、最上の一枚へ向けて進む様子は、それぞれ自由に撮るのはまた違った一体感!そしてもう一つ大事なポイントが、街の人々との温かい交流。今どき珍しい8×10カメラに引かれて、声をかけてくる人も多く、部員も通りがかりの人に「こんにちは!」と明るく挨拶。商店街の皆さんもすっかり顔がなじみで、応援してくれています。「この関係は全部、先輩たちがつくってくれました!」聞けば、カメラを残してくれたOBたちも、よく訪ねてきてくれるとか。手作りカメラを通した、街や先輩とのつながり。写真はこんなことまでできるんだ!と、感動しきりの取材でありました。

大会へのチャレンジと地道なサポート活動

栃木県高等学校文化連盟 写真専門部会 事務局 君島 哲夫

栃木県高文連写真部会では、12月に行われる県総文祭写真展に向けて作品作りに励んでおります。この大会で関東大会や全国高総文祭に出品する作品が選出されるので、各校の写真部は入賞を目標に活動しております。また、夏から秋にかけては生徒の作品作りのサポートとして、写真家による講演会(昨年は中井精也先生)や撮影会、企業のご協力をいただいたデジタルカメラの講習会・写真展を開催しております。これからも多くの生徒からの要望を取り入れた活動を企画し、生徒の写真のレベルアップを陰ながら支えていければと思っております。



「ガンバリ写真部」に 登場しませんか?

このコーナーに登場したい!という写真部(または写真部に準ずる部)は、「ガンバリ写真部取材希望」とお書きの上、
●部のPRポイント ●学校・クラブ名
●学校住所・電話番号 ●代表者氏名
を併記して、TopEye編集部までご連絡ください。(連絡先は裏表紙に記載)

栃工写真部 最近の実績!

- 全国高総文祭写真展「最優秀賞」(2006年度)、「優秀賞」(2010年度)
- 全国高等学校写真選手権大会 5年連続「優秀賞」!
- TopEyeフォトサロン「TopEye賞」2度受賞!(140回、154回)
- その他、九州産業大学フォトコンテスト「上野彦馬賞」、よみうり写真大賞、CAPAフォトコンテストなど、受賞多数!

部屋の入り口に、
写真展のお知らせ!



5月には、「ニコンサロン新宿 bis」で 「わが故郷とちぎ」の写真展を開催!



第154回TopEye賞の
柳澤先輩。現在は日藝
写真学科!

柳澤さんと「わが故郷
とちぎ」に取り組んだ
梅味先輩。

手作りカメラの生みの親、
木野内先輩。
今は県立今市工業高等
学校の写真部顧問!



石上くん撮影



「ホワイトバランス」を使って

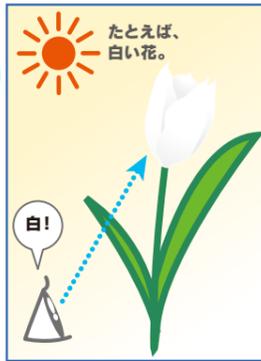
1ページ使って みっちり学ぶぞ、ホワイトバランス!

知ってみると面白い、奥が深いホワイトバランス。基本的な仕組みを説明するよ。

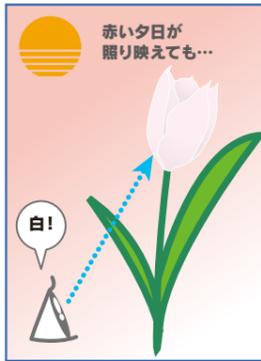
1 そもそも ホワイトバランスって何なのよ?

「白いモノは白く見える」アタリマエじゃん、と思うかな?でも、デジタルカメラの場合、周囲の光の状況によって「色の偏り」が出てしまうことがある。それを補正するのがホワイトバランス(WB)だ。

人間の目はとても賢い。どんな光の下でも、白いものは白く見える!



たとえば、白い花。



赤い夕日が照り映えても...



蛍光灯の緑っぽい光でも...

その目の賢さを、デジタルカメラでも実現するのがオートホワイトバランス!

2 「色の偏り」って なぜ生まれるの?

太陽に電球、蛍光灯...世の中にはいろんな光源がある。その色は、「色温度」というモノサシで表すことができる。色温度が低い光は赤みを帯び、高い光は青みを増す。その色温度を図って、色合いを調整するのがホワイトバランスの仕組みだよ。

身の回りのいろんな光の「色温度」



- 電球** 電球の赤みを補正するために、青みのある方へ補正する。
- 蛍光灯** 蛍光灯の緑かぶりする光を補正。
- 晴天** 太陽光を前提にしたモード。
- 曇天** 晴天より少し青みが増すので、赤みを少しプラス。
- 晴天日陰** さらに青みを補正し、赤みを強調する。

こんな風に色を調整することで、それぞれの光源下で「白いモノを白く」見せるのだ!

3 どうやって 設定するの?



ボタンを押して

カメラのモニターで、撮影メニューを見てみよう。「ホワイトバランス」という項目がある。普段は「オート(自動調整)」に設定されていて、それで問題なく撮れることも多い。でももし、撮影した写真が「ちょっと違う...」と感じたら、設定を変えてみよう。



思い通りの色表現!!

キレイな景色に感動して、思わず撮影。でも画像を見て「なんか違う...」と思うことって、ない?大きな理由の一つが、色合いがうまく表現されていないことだ。自分の目で見た印象を、できるだけ効果的に表現したいよね。そんな時に力を発揮するのが、デジタルカメラの「ホワイトバランス」という機能だ。写真の腕をあげるステップとして、ぜひマスターしよう!

ホワイトバランスで 「表現したい色」を手に入れろ!

ホワイトバランスは元々、「白いものを白く見せる」ための機能。でも、写真によっては、ある色をあえて強調したい時もあるよね。その時には、ホワイトバランスの調整機能をわざと「逆用!」してみるのもアリだ!

ケーススタディ1 by ニコ

「温かみのある電球の光」を表現したい!

ホワイトバランス= AUTO



古い洋館のロマンチックなあかり。実際はもっと赤々として、イイ雰囲気だった。あの感じがうまく出ないかな?

ホワイトバランス
チェンジ!

ホワイトバランス= 曇天



あかりも、周囲の様子も、ステキな感じになったわ!

ケーススタディ2 by トップ

「幻想的な光景」を表現したい!

ホワイトバランス= AUTO



ホワイトバランス
チェンジ!

ホワイトバランス= 電球



空にそびえる自由の女神像。まわりの雲の様子がかっこいい。でも色合いが普通の「曇り色」なんだよなあ。



おおっ、何だかスゴイ感じの雲の色にできた!

ピクチャーコントロールも 試してみよう!

もう一つ便利なのが、被写体に合わせて最適な設定で撮影することができる「ピクチャーコントロール」機能だ。画像の色合いに加えて彩度や明暗のコントラストを高めたり、輪郭をくっきりさせるなど、細かな設定がされている。まあ解説するより、自分で撮って比べるのが一番わかるだろう。健闘を祈る!

鮮やかな景色を撮りたい時は

▶ 「風景」を選択!



スタンダード



風景

- ・空や葉の色が鮮やかに!
- ・植物の輪郭がくっきり!

人物写真をキレイにとるなら

▶ 「ポートレート」を選択!



スタンダード



ポートレート

- ・髪が柔らかな質感になった!
- ・顔の影も少し優しい感じに!

※メーカーや機種によっては、ピクチャーコントロール機能がないカメラもあります。



モデル
笑い!

そのホワイト
バランスは
これ使ったら

今回は、撮った写真をパソコン上でさらに魅力アップするワザの伝授。ニコンが無料で配布している「ViewNX2」というソフトを使うよ。



講師/斉藤勝則
イラスト/いぬこ



「VOLCANO」より(北海道・旭岳)



「久万山真景」より(愛媛県・久万高原町)



「CAPE」より(北海道・東静内)



「久万山真景」より(愛媛県・石鎚山)

高校時代は写真部でしたが、それほど熱心じゃなくて(笑)。大学で写真専攻を選んだのも「何となく」。でもそこで写真家の北島敬三先生に出会ったのが転機でした。先生の「写真は、普通の人が化けられるんだ」という言葉が力になりましたね。それまでずっと、「自分は普通の人間だ」と思っていましたから。

卒業が気になり始めた頃、先生の提案もあって、学内外の先輩や仲間と一緒にギャラリースペースを作り、自主運営し始めました。現在も続いている「フォトグラフィーズ・ギャラリー」です。メンバーの展示会の他、企画展や講座、上映会などいろんな活動をやり、その記録として始まった年に1度の機関誌は、今はインタビューや美術評論などに広がる雑誌になりました。すべての活動の原動力は「面白いことがやりたい」という思い。たくさんの人と出会い、いろいろ仕掛けていく中で、写真をずっと続けていければと思っています。

日本国内の海岸や山、集落などを撮り

歩いています。自然の風景に、人が関わる様子に引かれますね。たとえば大潮の日、潮が引いていった後に、釣り人や漁師たちが獲物を狙ってそぞろに出てくるのが面白かったり。火山も魅力的です。溶岩の上にまた街ができるというような、人の営みが見えるのが興味深いと思います。

東日本大震災を扱ったニコンの企画展「Remembrance 3.11」に参加し、「思い出すことが現在をつくる」という主旨に共感して、自分でも「Remembrance」という小冊子を始めました。最初は東北の被災地。今後は日本各地を巡り、自然と人の関わりを撮っていきたくと思います。

今はテレビやネットで、いろんな場所の情報や画像が簡単に見られる時代。でも現場へ行って自分の目で見れば、思っていたものとは全然違うことがわかります。さらに写真に撮ると、また別のものが見えてくる。そこで誰かに出会ったり、何か別の興味が派生することもある。「自分の目で見に行く」ことは、大事ですよ。

笹岡 啓子

Profile

(ささおか けいこ) 1978年広島県生まれ。東京造形大学卒業。同大在学時の2001年、共同で自主運営ギャラリー「フォトグラフィーズ・ギャラリー」設立。2008年、VOCA 展奨励賞受賞。2010年、日本写真協会新人賞受賞。写真集に「PARK CITY」(インスクリプト、2009年)、「EQUIVALENT」(RAT HOLE GALLERY、2010年)。2012年3月から写真小冊子「Remembrance」発行。

ホームページ
(フォトグラフィーズ・ギャラリー)
www.pg-web.net



FRIEND'S EYE

読者の皆さんと編集部が一緒につくる、フレンズアイ。カメラ関係のお役立ち情報に、読者の主張、写真についての疑問質問、写真展告知など、なんでもアリ。皆さんの情報提供、待ってます!

元気な先輩に出会いたい!

PhotoPhoto OB/OG訪問!

SENPAI-file.7



忙しい!でも楽しい大学生活!!

早稲田大学政治経済学部 3年

湯本 千晴さん

(第149回フォトサロン入選・徳島県立鳴門高等学校OG) 家業が写真館ということで、子供時代から写真に親しみ、母校の写真部立ち上げの中心になった湯本さん。今は東京の大学で応援部員として忙しい毎日。写真に関わる将来も視野に入れながら、学生生活をメキメキ楽しんでいます!

「PhotoPhotoSalon」で栄冠を手にした先輩たちの、ホットな「今」をご紹介します。数年後のキミがここにいる!?

母校の写真部はどんな感じでしたか?

高校2年の時、今も顧問をやっている渡辺先生が写真同好会を創設しまして。私が写真好きということをご存知だったので勧誘されました。勇んで入部したものの、最初の部員は私一人(笑)。新入生が入ってから部の運営は手探りでしたが、文化祭や高文連、コンテストへの出品、それから他校の写真部と一緒に撮影会をしたりと、なんだかんだでいろんな活動ができましたね。TopEye賞受賞はもちろん大きな出来事で、しばらくは浮かればなでした。でもそれをきっかけに、人の写真もよく見て吸収しようという姿勢ができたように思います。

進学や大学生活について聞かせてください!

もちろん、芸術大学や専門学校への進学も考えました。でも一方で自分の視野の狭さを感じており、知らない世界をもっと見てみたいという思いから、あえて写真専門ではない大学への進学を決めました。大学では応援部の吹奏楽団に入り、ホルン演奏を担当しています。もともとスポーツや音楽が好きだったことから選んだ部ですが、新しい楽器やマーチングなど未経験のことばかりで、世界が広がった感じです。毎日授業と部活動で忙しく、夜遅く帰宅してそのまま授業のレポートで徹夜、なんてこともあって大変ですが、充実感いっぱいなのでやはり「楽しい」のひと言です。3年の後期からは、写真に携われる記録係もやりたいと思っています。

将来の夢は何ですか?

夢の一つは、スポーツカメラマンになること。応援部の一員として、一心不乱な選手の姿を間近で見ていると、その陰の厳しい努力やプロセスを思えば本当に感動します。その感動を伝えられる写真が撮れたらいいなあと。実はその他にも、「牧場で働く」「漁師の家に嫁ぐ」なんていう夢を持っています。昔から自然豊かな環境に暮らしてきたので、この先も何らかの形に関わっていきたいと思っています。

では、先輩たちにメッセージを!

深く考え込まず、ただシャッターを切る。これって結構大事だと思います。もちろんアングルや設定などいろいろ模索するのも必要ですが、思うままに撮った写真の中に、何にもとられない自分らしさが表れてくると思います。また、写真以外のいろんな経験も大事。被写体に対する知識の度合いで撮り方も変わるし、写真に関係ないことでも、感性を磨くという点できっと写真にフィードバックされると思いますよ。



早稲田大学の応援部でさっそく活躍中!

Nikon News

写真と俳句を組み合わせた新心のアート
やってみようよ! フォト×俳句

お気に入りの写真に、「五・七・五」で自分の思いを加えてみると、写真の世界がもっと広がるよ。俳句と写真を組み合わせた「フォト×俳句」に挑戦してみない? 難しく考えずに、写真からイメージを膨らませて、季節感ある言葉を考えてみよう。

作品づくりのポイント

- 1 写真、俳句どちらも自分で作ろう。
- 2 俳句には「季語」を入れよう。「春」「夏」「秋」「冬」だけでもOK!
- 3 俳句と写真は付かず離れず。写真説明にならないように工夫してね。

さっそく投稿! 信濃毎日新聞「フォト×俳句」サイト

いろんな人の作品がたくさん。投稿もできるよ!

www.shinmai.co.jp/photohaiku

参加者募集中!

信濃紀行 第3回全国フォト×俳句選手権

10月13日(土)・14日(日) @長野県須坂市

昨年(第2回)グランプリ作品



麻沼育美さん(長野県中野市)

詳しくは、今号同封の応募要項を見るか、全国フォト×俳句選手権webサイトへ。

www.shinmai.co.jp/photo-haiku

フォト俳句選手権 検索

主催:信濃毎日新聞社「フォト×俳句選手権」事務局 Tel.026-236-3399 特別協賛:(株)ニコン、(株)ニコンイメージングジャパン

グランプリの部 須坂市で行って腕を競おう!

参加申込締切:9月21日(金)

10/13(土) 須坂の街で作品づくり

10/14(日) 公開審査



Nikon D3200 レンズキット

全国公募の部 事前に作品を作って投稿しよう!

参加申込締切:8月24日(金)

10/14(日) 須坂市で表彰式



Nikon1 J1 レンズキット

2400万画素が、魅せる世界へ。

5/24
発売予定

- 新開発 有効画素数約2400万画素のCMOSセンサー
- 手ぶれしにくい、ホールド感に優れた小型軽量ボディ
- D4と同じ画像処理エンジン「EXPEED 3」を搭載
- 撮影シーンの明るさや色情報を分析し、高度なオート制御を実現する「シーン認識システム」
- 見た目に近い明暗を再現するアクティブD-ライティング
- フルHD動画に対応した「DMムービー」



D3200

価格：オープンプライス

DX フォーマット
24 有効画素数 メガピクセル
ISO 100~6400 感度
ガイド モード

解放F値1.8の美しいボケ味が楽しめる大口径広角単焦点レンズ。



5/24
発売予定

AF-S NIKKOR 28mm f/1.8G
 希望小売価格：¥93,450 (税抜¥89,000)

写真の力で復興支援!

5/19

ニコン高校生デジタル写真教室

@福島県立いわき総合高等学校

42名もの生徒さんが集まってくれた、今回の写真教室。写真家の酒井梨恵先生を講師に迎え、デジタル写真の基礎に撮影実習、そして撮影してきた作品の講評といった充実のメニュー。新たな一歩を踏み出すきっかけになれば、うれしいです!!



第60回 ニッコールフォトコンテスト 第4部「U-31」作品募集中!!

7月9日(月)必着
応募資格 30歳以下の方 (2012年3月末現在)
大賞賞金 30万円
大賞商品 ニコンD7000レンズキット

詳しくはWEBで!

注意!
 ニッコールフォトコンテストとTopEyeフォトフォトサロンに、同一の作品でご応募いただくことはできません。(ノミネートを除く)

TopEye フォトフォトサロン 応募者の皆さんへ!!

組写真で応募する場合は、作品をテーブルでつなげてお送りください。

見てほしい順番につなげて...

裏側をテープでとめる!

各作品の応募票に撮影データなどもれなく記入!

次回締切は9/10(月)まで!



広島県立庄原格致高等学校写真部 2000-2012作品集

『Finder』

10校の写真部に!

名門写真部の12年にわたる活動の集大成です。TopEye賞ほか、多くのフォトコンの入賞作も満載。部のご好意により、全国の写真部仲間へ抽選でプレゼントします!

以下の項目にご記入の上、右記宛先にハガキでメールで!

- 「Finder 希望」
- 顧問の先生と部長さんのお名前
- TopEyeへの感想
- 学校名・クラブ名
- 学校住所・電話番号

※写真集の発送をもって、当選発表に代させていただきます。



239ページ 1,000円
 写真集のお問い合わせは、広島県立庄原格致高等学校写真部顧問 田村先生 (0824-72-2191)まで。

皆さんの投稿歓迎!!

掲載者には記念品をプレゼント!

投稿の際には忘れずに書いてね!

- ①学校名・クラブ名
- ②あなたの住所
- ③氏名
- ④電話番号
- ⑤使用可能なメールアドレス

宛先 〒104-0045 東京都中央区築地 4-3-11 アクアビル 203
 (株)アドバタズ TopEye 編集部宛
FAX (03)5148-0566 **E-MAIL** topeye@nikonooa.net

Nikon Salon Information

<http://www.nikon-image.com/activity/salon/>

赤い字は、トップアイ仲間の作品が観られる写真展だよ!

銀座ニコンサロン (03)5537-1469

10:30~18:30(最終日は15:00)

- 本橋成一「屠場とば」 6/6~6/19
- 奥山淳志「彼の生活 country songs より」 6/20~7/3
- 伊ヶ崎忍「INAYA TOL」 7/4~7/17
- 由良環 「TOPOPHILIA CITIES After sunrise/Before sunset」 7/18~7/31
- 菊池一郎「標景」 8/1~8/14 (会期中8/11~12休館)
- 佐野久里子「moiré -モアレ-」 8/15~8/28
- Alena Dvorakova / Viktor Fischer「WATER」 8/29~9/11
- 渡邊博史「JAPANTOWN PROJECT」 9/12~9/25
- 声沢武仁「マラムレッシュの家」 9/26~10/9
- 時津 剛「DAYS FUKUSHIMA」 10/10~10/23

ニコンサロンbis新宿 (03)3344-0565

10:30~18:30(最終日は15:00)

- 伊藤理恵「鉄橋日和」 6/12~6/18
- Juna21 杉澤直哉「帰化植物」 6/19~6/25
- 日本大学芸術学部写真学科 「出てこい新人-日本大学芸術学部写真学科気鋭学生写真展」 6/26~7/2
- 奥山和朗「Shibuya(私が生まれ育った街)」 7/3~7/9
- 小柳宣昭「中津 高架下風景一」 7/10~7/16
- 関 勝子「この子たち~輝きのとき~」 7/17~7/23
- Juna21 河合智子「奇色(Kiiri)」 7/24~7/30
- 青山茂明「枯れ野讃歌」 7/31~8/6
- 牛木 実「朱鷺の四季」 8/7~8/18 (8/19・20休館)
- Juna21 八木隆太「嵐気楼」 8/21~8/27
- 蜂谷直子「ハーモニカ長屋一消えゆく炭鉱住宅一」 8/28~9/3
- 全国高等学校文化連盟 「第36回全国高等学校総合文化祭写真展優秀作品展」 9/4~9/10
- 井上みさほ「神国・阿蘇」 9/11~9/17
- ヨコハマ水中写真クラブ「海が好き」 9/18~9/24
- Juna21 津田隆志「Site」 9/25~10/1
- 大西マサキ「Over flow」 10/2~10/8
- 小山哲夫「岩代国に想う」 10/9~10/15

- Juna21 青木 弘 8/2~8/8 「ARAB SPRING ~アラブの春 リビア革命~」
- 本橋成一「屠場とば」 8/9~8/22 (会期中8/18・19休館)
- 鶴崎 燃「海を渡って-日本Xミャンマー」 8/23~8/29
- 伊ヶ崎忍「INAYA TOL」 8/30~9/5
- 菊池一郎「標景」 9/6~9/12
- 未定 9/13~9/19
- Juna21 西岡 潔「マトマニ」 9/20~9/26
- Juna21 Garrett Hansen「Partner and Passage」 9/27~10/3
- 渡邊博史「JAPANTOWN PROJECT」 10/4~10/17

新宿ニコンサロン (03)3344-0565

10:30~18:30(最終日は15:00)

- 鶴崎 燃「海を渡って-日本Xミャンマー」 6/5~6/18
- Juna21 西岡 潔「マトマニ」 6/19~6/25
- 李 容重「第三世代」 7/10~7/23
- Juna21 Garrett Hansen「Partner and Passage」 7/24~7/30
- 河野謙児 「Faces of the Navajo ナバインディアンのポートレート」 7/31~8/6
- 全日本写真連盟「全日本写真展2012」 (8/19・20休館) 8/7~8/18
- Juna21 安井美幸「手の中にある自由」 8/21~8/27
- 松井一奏「幻の鳥」 8/28~9/10
- 井岡今日子「新・北京胡同(仮)」 9/11~9/24
- Juna21 石井保子「houses seen」 9/25~10/1
- 梅本彌一郎「猫と女と男・滞留する街」 10/2~10/15

大阪ニコンサロン (06)6348-9698

10:30~18:30(最終日は15:00)

- Juna21 岡田 将「白い痕跡」 6/14~6/20
- Juna21 中川大祐「Hotel Rlycom」 6/21~6/27
- ニコンサロン特別展 土田ヒロミ「BERLIN」 6/28~7/11
- 宮崎康彦「東京起源」 7/12~7/18
- 今岡昌子「トポフィリア -九州力の原像へ-」 7/19~7/25
- Juna21 瀧野恵太「ソマリヤ 戦場に生きる人々」 7/26~8/1

ニコンサロンbis大阪 (06)6348-9698

10:30~18:30(最終日は15:00)

- Juna21 渡邊遊司「朝陽を知らない。」 6/14~6/20
- Juna21 大澤寛幸「コトワタシ」 6/21~6/27
- 小川照夫「メッセージ」 6/28~7/4
- 叶 養之助「明延鉱山・その軌跡」 7/5~7/11
- Group Signal Blue「鉄路の思いで」 7/12~7/18
- 石田 榮「明日への希望を求めて-半世紀前の証-」 7/19~7/25
- Juna21 神田開主「追想の地図」 7/26~8/1
- Juna21 Ma Kwan Kak「Last Time Here」 8/2~8/8
- 川岸じろう「敗戦の記憶」 8/9~8/22 (会期中8/18・19休館)
- 全国高等学校文化連盟 「第36回全国高等学校総合文化祭写真展優秀作品展」 8/23~8/29
- 津野弥生「刻の雫」 8/30~9/5
- ニッコールクラブ奈良支部「呼び止められて」 9/6~9/12
- 田中 賢「海沿いの町」 9/13~9/19
- Juna21 杉澤直哉「帰化植物」 9/20~9/26
- Juna21 河合智子「奇色(kiiri)」 9/27~10/3
- 松本弘子「光の音-都市を-」 10/4~10/10
- 武田憲幸・久美子「身近な小さい生き物たち2」 10/11~10/17

スケジュールは変更になる場合があります。詳しくは各サロンにお問い合わせください。

見てね! ネットでもTopEye

TopEye誌面のダウンロードや、フォトフォトサロン受賞作品の鑑賞ができます。
 URL: www.nikon-image.com から「写真文化活動」>「写真部応援マガジン TopEye」へどうぞ!

「Top Eye」へのお問い合わせはこちらまで。
ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージングジャパン)

E-mail: topeye@nikonooa.net
 TEL: 03-3769-7960